



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月1日

上場会社名 イーレックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9517 URL http://www.erec.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本名 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 花島 克彦 TEL 03 (3243) 1167  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	12,492	38.2	1,192	1.5	1,124	△0.3	718	△5.2
30年3月期第1四半期	9,041	65.0	1,175	61.7	1,127	61.8	757	52.3

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,997百万円 (45.3%) 30年3月期第1四半期 1,374百万円 (208.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	14.20	14.10
30年3月期第1四半期	15.05	14.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	62,209	20,005	25.2
30年3月期	54,377	17,857	26.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 15,661百万円 30年3月期 14,298百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
31年3月期	—				
31年3月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,405	47.8	6,928	43.9	6,617	45.7	4,026	32.5	79.66

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	50,811,000株	30年3月期	50,799,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	230,131株	30年3月期	253,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	50,562,459株	30年3月期1Q	50,318,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する電力業界においては、平成28年4月の電力小売全面自由化を受けて、さまざまな業種から新規参入する事業者が増加しており、当社を含む小売電気事業者数は平成30年6月末現在496事業者と増加しております。

平成30年7月18日に電力・ガス取引監視等委員会より公表された平成30年4月分の電力取引の状況によると、当社を含む新電力シェアは販売電力量ベースでは12.7%（対前年同月比3.5%増）、販売額ベースでは13.3%（対前年同月比3.7%増）、契約口数ベースでは7.4%（対前年同月比3.5%増）となりました。

この様な状況の下、当社グループの電力小売事業では、平成30年4月に北海道エリアに、平成30年6月に北陸エリアへ進出したことにより北海道から沖縄までの全国のお客様へ電力供給を行う体制が整いました。併せて、低圧分野では、平成30年5月よりイーレックス・スパーク・マーケティング株式会社が株式会社ベネフィット・ワンの福利厚生会員743万人（平成30年4月時点）向けに『福利厚生優待電気』の提供を開始する等、顧客基盤の拡大に務めてまいりました。高圧分野では、新規顧客の対象地域拡大に加えて、高負荷率の顧客への提案強化を進めたことにより販売電力量の増加に繋がりました。

これら取組により、当社グループの電力供給施設数は、平成30年6月末時点において、高圧分野では約10,800件（前年同期比+100件）、低圧分野では約110,000件（前年同期比+48,000件）と供給先施設数は順調に伸びております。

また、発電事業につきましては、イーレックスニューエナジー株式会社の土佐発電所及びイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の佐伯発電所は、それぞれ定期修繕を行いました。定期修繕後については計画通りに稼働致しました。現在建設中の豊前バイオマス発電所（福岡県豊前市：豊前ニューエナジー合同会社）については、平成30年6月に立柱式を執り行い、平成31年度中の商業運転開始に向け、順調に準備を進めております。

このような状況下で、当社グループの当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は12,492百万円となり、前年同期比で3,451百万円増加いたしました。主な要因は、低圧分野での契約件数の増加と、高圧分野における販売電力量の増加によるものです。

一方、売上原価が10,073百万円となり、前年同期比で3,146百万円の増加となりました。主な要因は、販売電力量の増加に伴い調達電力量及び託送料金が増加したことによるものです。

また、人員の増員に伴う人件費の増加や営業活動の強化に伴う費用の増加により、販売費及び一般管理費は1,226百万円となり、前年同期比で287百万円増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は1,192百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益は1,124百万円（同0.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は718百万円（同5.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は22,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,630百万円減少いたしました。これは主に土佐発電所及び佐伯発電所の定期修繕に伴い再生可能エネルギー交付金額が減少したこと等により未収入金が減少したことによるものであります。固定資産は40,054百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,465百万円増加いたしました。これは主に豊前バイオマス発電所の建設仮勘定が増加したことによるものであります。繰延資産は6百万円となり、前連結会計年度末と比べ2百万円減少いたしました。これは株式交付費の償却によるものであります。

この結果、総資産は62,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,832百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は15,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ692百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は26,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,376百万円増加いたしました。これは主に豊前バイオマス発電所の建設資金に係る長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は42,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,684百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,147百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払いが609百万円あったものの、為替予約による繰延ヘッジ損益が1,206百万円増加したことや親会社株主に帰属する四半期純利益718百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は25.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、平成30年5月10日に公表した業績予想は、同資料の発表日時点において当社グループが入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,461	11,839
売掛金	6,142	6,231
原材料及び貯蔵品	280	450
未収入金	4,128	3,151
その他	766	475
流動資産合計	23,779	22,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,503	3,471
機械装置及び運搬具（純額）	15,438	15,150
土地	747	747
建設仮勘定	3,758	13,620
その他（純額）	105	98
有形固定資産合計	23,552	33,089
無形固定資産		
その他	1,803	1,798
無形固定資産合計	1,803	1,798
投資その他の資産		
投資有価証券	432	431
関係会社株式	1,368	1,360
繰延税金資産	423	384
敷金及び保証金	458	458
その他	2,611	2,612
貸倒引当金	△61	△80
投資その他の資産合計	5,232	5,166
固定資産合計	30,588	40,054
繰延資産		
株式交付費	9	6
繰延資産合計	9	6
資産合計	54,377	62,209

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,111	4,662
短期借入金	6,500	6,500
1年内返済予定の長期借入金	1,984	1,984
未払法人税等	1,146	377
賞与引当金	84	39
役員賞与引当金	3	1
その他	2,788	2,360
流動負債合計	16,619	15,926
固定負債		
長期借入金	12,649	20,292
退職給付に係る負債	25	23
資産除去債務	2,742	2,776
繰延税金負債	30	29
役員報酬BIP信託引当金	98	84
デリバティブ債務	3,929	2,725
その他	425	345
固定負債合計	19,901	26,277
負債合計	36,520	42,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,167	5,168
資本剰余金	4,553	4,555
利益剰余金	8,554	8,662
自己株式	△226	△205
株主資本合計	18,049	18,180
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△3,734	△2,527
為替換算調整勘定	△15	8
その他の包括利益累計額合計	△3,750	△2,519
非支配株主持分	3,558	4,343
純資産合計	17,857	20,005
負債純資産合計	54,377	62,209

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,041	12,492
売上原価	6,927	10,073
売上総利益	2,113	2,418
販売費及び一般管理費	938	1,226
営業利益	1,175	1,192
営業外収益		
受取利息	1	6
受取手数料	1	1
その他	0	9
営業外収益合計	3	17
営業外費用		
支払利息	37	41
支払手数料	5	21
持分法による投資損失	2	11
その他	5	11
営業外費用合計	50	85
経常利益	1,127	1,124
税金等調整前四半期純利益	1,127	1,124
法人税、住民税及び事業税	322	315
法人税等調整額	2	38
法人税等合計	324	354
四半期純利益	803	770
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	757	718

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）
四半期純利益	803	770
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	571	1,204
為替換算調整勘定	—	20
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	571	1,227
四半期包括利益	1,374	1,997
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,328	1,947
非支配株主に係る四半期包括利益	46	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。